



## 「関西健康・医療創生会議オンラインシンポジウム」の開催について

「新型コロナウイルス感染症（COVID 19）の現状と対策」

～第二波に備えて、何がわかってきたか、どう備えれば良いか～

令和 2 年 7 月 4 日  
イノベーション推進担当

今回の新型コロナウイルス感染症は、全世界に大きな衝撃を与え、その被害は現在も続いている。このようなパンデミックが起こることは、恐らくほとんど想定されていなかったからである。したがって日本の大学でも感染症の専門家は極めて少なくなり、研究所の数も減少していた。関西健康・医療創生会議でも、全く取り上げてこなかった課題である。

日本では、緊急事態宣言と、国民の協力によって、第一の波はほぼ乗り切ることができた。しかし南米、アフリカ、インドなどでは、膨大な数の感染者、死者が出ており、第二波、第三波への対策が急がれている。

このたび、関西健康・医療創生会議では、今後の新型コロナウイルス感染症への対策を考えるために、オンラインでの講演会を計画した。一人でも多くの人に参加していただき、現在の最先端の知識を共有し、今後の感染症への対策を立てる参考としていただければと考える。

【時 期】 2020年7月17日（金）13時～15時30分

【主 催】 関西健康・医療創生会議、NPO法人関西健康・医療学術連絡会

【対象者】 自治体（行政、公立病院・保健所）、医療・福祉関係者、産業界、一般市民

【プログラム】

（視点）

- ・医療・行政現場で何が起こっていたか、今 何ができるか、今後どう備えるべきか
- ・新しい感染症に対応するため、どういう人材が必要か、どう育成すべきか

○基調講演：神戸市立医療センター中央市民病院・病院長 木原 康樹

「神戸中央市民病院は COVID-19 との戦いに負けたのか？」

○特別講演：北海道大学大学院医学研究院教授 西浦 博

「新型コロナウイルス感染症の流行対策」

○パネルディスカッション

[座長：京都大学大学院医学研究科教授 中山 健夫]

- ・大阪大学大学院医学系研究科教授 朝野 和典  
※大阪府新型コロナウイルス対策本部会議専門家委員
- ・和歌山県保健福祉部技監 野尻 孝子
- ・神戸市立医療センター中央市民病院長 木原 康樹
- ・LINE 株式会社 公共政策担当執行役員 江口 清貴

【開催方式】 ZOOM によるオンラインセミナー（事前登録制）

※参加無料。但し、満員になり次第、締め切らせていただきます

※申込先 [https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_Q1y3f90YQnyhYT-nSa5ijA](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_Q1y3f90YQnyhYT-nSa5ijA)